



森ボラ 通信

第 48 号 2006 年 5 月 20 日発行
N P O 法 人 北 海 道 森 林 ボ ラ ン テ ィ ア 協 会
札幌市中央区南 2 条西 2 丁目金市館ビル 8F
Tel:241-8155 Fax:241-8308
E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp
URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

■トピックス

◆札幌市有林「森づくり」18年度 方針

待ちわびていた桜前線もようやく津軽海峡を渡り、梅と桜が競いあって咲き誇っていたのも束の間、我々のパートナーとも言えるべき野山の木々も一斉に芽吹き、森林ボランティア協会の野外活動の季節と張り切っておられる会員諸氏の顔、顔、顔、目に浮かびます。

当森林ボランティア協会が札幌市と関わり、野外活動の場として、**1** 有明第二都市環境緑地「学びの森」(案) **2** 澄川都市環境緑地「癒しの森」(案) **3** 西野第二都市環境緑地「郷土樹種育成モデル林」(案) の3ヶ所あるが、いずれもまだ完成途上である。その主たる原因は、札幌市がこの緑地をどのような方法で、どのようにして欲しいのか、将来展望の青写真が示されていないためと思う。そのことはともかくとして、当協会の**18**年度の事業計画の作業の進め方については以下の要領で行います。

1 有明第二都市環境緑地

森を学びの場として近隣の小・中学校と協働し、動植物との共生と環境保全思想の醸成。

▼作業の進め方**(1)**植樹と既植樹地の下草刈、手入れの実施 **(2)**残存風倒木の処理 **(3)**遊歩道の整備とベンチの設置 **(4)**樹木名板の取り付けと巣箱の設置

2 澄川都市環境緑地

人と鳥類・小動物の棲む心地よい里山(森)づくり

▼作業の進め方**(1)**本年拡張部分の測量調査と境界の確認 **(2)**拡張部分の広場の有効活用〔出来ればケートおよび柵を補修する〕 **(3)**旧林道を活用した遊歩道の整備 **(4)**樹木名板の取り付けと巣箱の点検・補修 **(5)**シイタケ栽培の充実 **(6)**水辺の整備〔水質を検査と、可であれば在来淡水魚の放流〕

3 西野第二都市環境緑地

当初の計画では、ニセアカシヤを駆逐(除伐)し、在来樹種の育成を促し、除伐材を利用し、木歩道、柵、休憩あづまや等を作り、自然なビオトープを目指す計画であったが、平成**16**年**9**月の台風により、緑地の殆どの樹木が風倒被害にあい、倒木処理はしたもの、伐根等からニセアカシヤの萌芽が密生し、ひと夏で**2~3**倍も伸びたため、他の作業に優先してニセアカシヤ萌芽の除伐にあたらなければならないのが現状である。(山中 記)



アイデア募集

● 澄川緑地拡張部分の**広場の有効活用アイデア**をお寄せ下さい。

(お寄せいただいたアイデアが採用された方には係りから薄謝を進呈いたします。)

◆野幌国有林の植樹、順調に進む

17年秋に地拵をして、**17**年**9**月**20**日に一部の広葉樹ポット苗の植栽とノネズミ、エゾシカ対策のテストをした野幌国有林**42**林班(**16**年**8**月台風被害跡地)の植栽が今年**4**月末から本格的に始まりました。



4月26～28日は地拵の補完とオーガーによる先行穴掘りと広葉樹普通苗植栽、5月11～13、17、18日はトマト普通苗、広葉樹ポット苗の植栽で、予定面積1.87ha、植栽本数1,800本の91%が完了し、残りは6月23日に予定されている二青会との合同植樹時に行う約160本のみとなりました。

野幌森林の4月末は、福寿草が咲き始め、風倒による根返りで出来た穴の水溜りにはエゾサンショウウオの卵が沢山見られ、5月中旬はエゾエンゴサク、ニリンソウ、エンレイソウ、バイケイソウ、スマレなど多くの春の花が見られ、昼休みには、4月末はフキノトウ、5月中旬はフキの採取をするなどし、毎回十名前後の参加者は春の息吹を全身に感じながらの楽しい植樹でした。

6月以降の野幌の作業は6月23日の植樹と植樹記念の説明標識板（手作り）の設置と6月下旬、7月下旬の下草刈が予定されています。（棟方 記）

◆サッカー基地に桜を植樹

5月16日、東雁木にある札幌サッカーアミューズメントパーク(AMP)に、エゾヤマザクラの苗木30本を植樹しました。AMPはコンサドーレの専用練習グラウンドに隣接する市有地(4ha)に建設が進められているサッカー基地。現在は人工芝のサッカー場と屋内練習場、クラブハウスが完成しており、コンサドーレユースの子どもたちが明日のJリーガーを夢見て日々汗を流しています。AMPが、道新グループの進めている「桜千本植樹事業」に応募し当選したのを機に、AMP完成とコンサドーレ10周年を記念して子どもたちによる植樹を急遽企画、当会に支援要請がありました。



ホンデュラスに届けるユニフォームを着て植樹。追加のボールもいただきました。

下見に訪れた13日は、大会のため多くの市民で賑わっていましたが、元々風が強い場所なうえに、造成したばかりで草すらも生えていない砂漠のような状態で、選手も観戦者も遮るものがない吹きさらしの中でした。マスクをしないと口の中が砂でざらつく有様です。激しいスポーツのため、コンタクトレンズの子どもたちが多く、難儀しているとのこと。一刻も早い緑化が必要なことは、誰の目から見ても明らかです。

翌日の14日、半日かけて30個の植え穴を掘りました。オーガーで荒掘りし、鍬とスコップで仕上げる作業ですが、土盛りした地面は粘土質で硬く礫も多く、移植した苗木が無事育つには厳しい場所であることが感じられました。

16日は定刻9時半に集合。高さ2.5M程の苗木も無事到着していました。まずは鳥居に組んだ添木を地中に埋め込む作業から始めましたが、これが想像以上に大変な作業となりました。1.8Mの長さの添木を地中に80cmも埋め込まなければなりません、オーガーで下掘りしても硬い地盤は容易に受け入れてくれず、添木が破損しないように注意しながら高さと向きを揃えて打ち込むのに大変な労力と神経が必要でした。5本分を残しすべて植え終え、記念植樹の準備が整ったのは子どもたちが到着する夕方5時少し前、たっぷり1日の作業となりました。

植樹したのはコンサ・ユースU-15の皆さんで、総勢50名近く。1本に1人会員がついて植樹指導しました。大人数で少しずつ交代しながらの作業でしたが、ほとんどの子どもが植樹は初めての体験のようで、興味津々の様子でした。子どもたちは皆礼儀正しく、きらきらと輝く力ある瞳をしていました。「この苗木のように成長する僕たちを応援してください」。植樹後のキャプテンの挨拶はさすがらしく、疲れが一気に消えました。これに応え酒井代表は、「一人の人間が生きて行くには16本の木が必要、一生の間に必ず16本の木を植えてください。」と熱く語りかけました。

北海道フットボールクラブの児玉社長は、AMPが緑化運動の発信基地ともなるよう様々な夢を描いていらっしゃいます。今後この地で、その夢が展開して行くことを楽しみにしています。そして、桜は子どもたちの元気な声を吸収し、きっと大きく成長すると信じています。（柴田 記）

コンサ社長日記にも詳しく掲載されています。<http://www.consadole.net/kodama/>

■ 今月の幹事会

5月8日(月)出席者：荻田、酒井、芝、杉本(茂)、高野(豊)、津金、西野(悌)、棟方、山中、和田

- 1 議事録署名
酒井議長、荻田、和田
- 2 総会説明
鎌田会員による質問対応→同封別紙
- 3 年間スケジュール調整および7月作業計画の見直し
野幌草刈作業追加
- 4 札幌市18計画提示
澄川のコンセプト 「癒しの森」
西野のコンセプト 「郷土樹種育成モデル林」 →ニセアカシヤ萌芽除伐
有明のコンセプト 「学びの森」
- 5 北海道神宮
5/21 奉賛会講演復活→北の森サークルが対応
- 6 5月「森ボラ通信」記事
野幌作業報告→棟方
札幌市(有明、澄川、西野)計画→山中
- 7 その他
腰鋸替刃補助→前年参加回数10回以上、領収証と引き換えで上限3000円/人
ボランティア保険→チェーンソー、刈払機操作者は加入する

■ おしらせ

◆ 6月幹事会開催日変更

ホンデュラス訪問(6月10日出発)との日程調整のため、6月幹事会は3日(土)に開催します。
開催時間、場所の変更はありません。

お報せ4件

リンゴ園花見	5月23日(火)、午後から、雨天決行 会費なし、アルコール付き、公共交通機関をご利用ください
テーブル完成コンパ	5月31日(水)杉本邸午後から 会費制、アルコール付き(テーブルは4ページ写真)
ホンデュラス壮行会	6月3日(土)14時頃から 場所：狸小路「サッポロビール園」会費制
二青会植樹	6月23日(金) 野幌森林公園 午後から二青会の植樹 15時頃から場所を「小野幌キャンプ場」に移動して「バーベキュー懇親会」 会費なし、アルコール付き。多数の参加を期待します。

◆ 会員の動向

入会者：石川千寿子、工藤光夫、工藤和枝、武田展也

■活動履歴

活 動 日	場 所	参加人数	活 動 内 容
5/18	野幌森林公園		植苗、
5/17	野幌森林公園	12	植苗、
5/16	S.アミューズメントパーク	9	サクラ植木
5/14	S.アミューズメントパーク	5	植穴堀
5/13	野幌森林公園	11	植苗、
5/12	野幌森林公園	12	植苗、
5/11	野幌森林公園	16	植苗、ボサ粉碎
5/10	リンテージプラザ	18	会員例会
5/8	金市館会議室	10	5月幹事会
4/27	野幌森林公園		植畝調整、植苗、ボサ粉碎
4/26	野幌森林公園		植畝調整
4/25	野幌森林公園	13	植畝調整
4/24	リンテージプラザ	34	総会
リンゴ園	4/22,25,28,5/9,12,16,19 の回 開花前の園内整備を行いました。		
街頭募金	参加者ご苦労様でした。		

■ひとこま

◆西野さんのテーブル完成

木工開催日の他に、独りでチャレンジし、遂にテーブルが完成しました。神宮裏の風倒木カラマツに命を与える仕事です。写真では実物の迫力がわかりませんが、素人の作とはとても思えないワイルドな感じがよい味となっていました。木工チームの技術レベルもここまで来たかという喜びを共有しましょう。5月31日の完成記念コンパで苦労話を聞いてください。

尽きぬ命の調べは此処に→



◆支笏湖国有林でも市民参加による「再生森づくり」始まる



野幌森林公園でやっている「団体参加型森づくり」が胆振東部森林管理局管轄の支笏湖国有林でも始まりました。胆振管内国有林 15 区画の面積の再生に 9 団体が参加しておりました。5月19日は現地での場所確認と植栽方法の指導がありました。

←現地に掲げられた大きな看板